

高根地区小中学校共通目標

<小中共通目標～目指す15歳像～>

- 全体 夢を持ち、自分の行動に責任を持つ かにたっ子
- 知育 自ら学ぶ子
- 徳育 夢に向かってがんばる子
- 体育 あきらめないでやりぬく子



<設定理由(納得させる説明)児童生徒のよさと課題をもとに>

本地区の児童生徒のよさは、「素直で明るい児童生徒が多いこと」である。これは、家庭や学校だけでなく、学校応援団をはじめとした地域の方々の熱心な協力によって育てられている。

一方、次のような課題が見られる。1つ目は、「基本的な生活習慣の定着」である。虫歯の治療率が低く、1日歯磨きをしない児童生徒も見られる。学習面では宿題などの提出物を自分から出すことができない児童生徒がいる。2つ目は、「学力に課題が見られる児童生徒の割合が高い」点である。そして、3つ目は、「自分に自信がもてない点」である。自信は、物事をやり遂げることで身につくものだが、本地区の児童生徒は、こうした機会が少なかったり、うまくやり遂げられなかったりしたことなどが原因と考えられる。

こうしたよさと課題を踏まえて、小中9年間をかけて、「基本的な生活習慣をしっかり身に付けること」「自ら学び、基礎基本の学力をつけること」を粘り強く取り組むことで先の2つの課題解決につなげていきたい。この2つの粘り強い取組は、児童生徒のできることが増えていくことに結びつき、それが自信へとつながっていく。自信は自分たちの学びに広がりを与え、自分のもつ可能性や将来の夢を持つことにつながる。また、視野の広がりに伴い、今まで気付かなかった地域の方々の協力のおかげであることにも気付くことにつながると考える。

このように、自分にできることを増やす中で自分に自信をもつとともに、地域の支えに気付き、「いつかは自分の地域のために」と地域の発展を願う心を育てたいと考え、目指す15歳像を設定した。